

相馬ゆうこの



HP

南千住 レポート

まちづくり・
くらしの情報を
とどけます

相馬ゆうこ事務所

荒川区南千住5-1-6・2階

☎・FAX 3807-4192

区議団控え室(荒川区役所内)

☎ 3802-4627

FAX 3806-9246

✉ arajcp@tcn-catv.ne.jp

araken-nan.jugem.jp

プラごみ回収・リサイクルで「可燃ごみ減った」

昨年10月から区内でプラスチックごみの回収・リサイクルが本格実施に、

区の新しいパンフレットも発行。燃えるごみがずいぶん減った印象ですが、いかがですか。



山と積まれたプラごみ

3か月間で 開始後10~12月の3か月間で、区
391トン回収 内で合計391トンのプラスチックごみが回収され、
燃えるごみは24年10~12月9,408トン→25年10~12月8,674トンに、約7

30トン(7.8%)減少。軽いけどかさばるだけに「燃えるごみが半分になった」との声も。

燃えるごみ減少で、焼却時のCO₂は500トン以上削減、焼却炉の負担軽減にもなっています。身近なところから温暖化対策をすすめるため、引き続きのご協力をお願いします。

リサイクルから プラスチック廃棄物の
リユースへ 回収・リサイクル費用は
来年度5.3億円を見込んでいます。再商品化
は基本的に容器包装リサイクル協会が担当し
プラごみ事業費の内訳

収集運搬	3.2億円
中間処理	1.8億円
再商品化	1600万円
その他	900万円
計	5.25億円

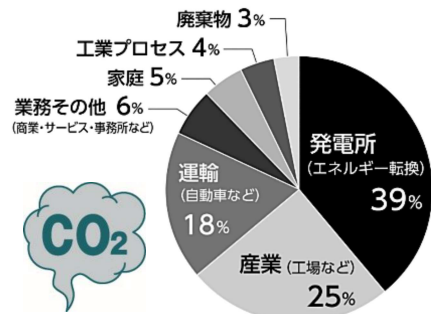
補助がありますが、収集運搬などに国の補助金はゼロ、都の補助金も2024~26年の3年間で2億円のみです。全国的にはプラごみの7割以上が焼却・1割は埋め立てに。国・都が責任をもって、マテリアルリサイクルとリユースに踏み出す必要があります。

国と企業の
取組みをもっと 日本でのCO₂排出量を分野別にみると、発電が約40%、産業が25%、運輸が18%など。発電・製造・運搬とも化石燃料に頼らず再生可能エネルギーへの転換と大量生産・大量消費を見直す、国・自治体と企業の責任が問われます。私たちも住み続けられる地球をまもるために、暮らしの中でできるところから取り組みたい。

燃えるごみ



CO₂の排出量の分野別割合 2019年度



共産党区議団 暮らし支援の予算“組み替え”を提案

日本共産党区議団は物価高で深刻な区民の暮らし第一の予算編成を求め、区長提案の総額1,367億円の予算案に対し、約22.3億円（1.6%）の切実な“組み替え”を提案しました（下）。



“組み替え”でこんなことができます

中小企業の賃上げ促進支援金の支給は、豊島区が実施。足立区では奨学金の返済支援、杉並区ではひとり親世帯等の家賃助成がすでに実施されており、荒川区でも必要な事業の提案をしています。

こういう施策をもっと予算に



財源 確保も

あわせて、再開発や不要不急の事業一部見直しで、財源確保も提案。

予算を見直し

○西日暮里駅前再開発のタワーマンション建設見直し
○2023年度から毎年

12.5億円ずつ積み立てている区役所建替え積立金を、来年度は1/2を区民生活支援に○毎年、国と区が実施している小中学校の学力テストのうち、区のテストを中止…などで13.7億円を確保。あわせて、区の積立金約430億円のうち9億円を有効活用し、暮らし支援を行います。



区は「学校や本庁舎などの建替え費用」を理由に歳出を抑制していますが、すでに公共施設の改修・建設費として別途300億円超を積み立てています。計画的な活用で区民サービスの向上との両立は可能です。みなさんの声で実現したい。

予算案の1.6%の「組み替え」を提案しました

区内中小企業に賃上げ奨励金	3億円
高齢者、障害者施設に事業継続支援金	2億円
住宅耐震化の補助拡充	2億円
屋内安全対策の推進	1億円
さくらバス補助など地域公共交通の整備	1億円
奨学金の返済支援	8000万円
図書館司書などの正規化（10名）	7724万円
ひとり親の家賃助成	7200万円
就学援助の対象拡大	2800万円
など	計22.3億円

西日暮里駅前再開発の見直し	△6.9億円
区役所建替えの積立額を半分に	△6億円
区の学力テスト中止	△3000万円
など	計△13.7億円

〈法律・生活相談〉 4月の定例法律相談日は 9日(木)です

ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所での定例法律相談は毎月第2木曜18時から。平日の昼間に法律事務所（北千住）でも可能です。お名前と電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

相馬 ゆうこ事務所 南千住5-1-6・2階 ☎ 3807-4192

区民のセーフティネットを守る荒川区に

くらしのセーフティネットである生活保護について、予算委員会で質問しました。



生活保護で支給される生活費（生活扶助）の基準は、2013年から複数回にわたって最大約10%引き下げられました（※）。全国で1,000名以上の保護利用者が引き下げ撤回を求めて裁判を起こし、最高裁で昨年6月に「引き下げは違法」との判決が確定しました。

※生活扶助の引き下げ

70代单身の方で2012年月額7.6万円→20年7.1万円に、ひとり親世帯（30代・子1人）で2012年21.3万→20年19万円など、切実な現状です。

違法引き下げに謝罪を 日本共産党区議団は当時から引き下げ撤回を求め区の認識を質してきましたが、区はこれまで「必要な適正化を図った」との答弁に。

【質問】 引き下げについてこれまでの認識の誤りを認め、あらためるべき
答弁： 制度を適正に運用する立場から、最高裁の決定を重く受けとめている

国の対応は 国は判決を受けて減額分を補償するものの、「再調整」で本来補償すべき金額の半分程度としています。専門家や弁護士団体などから「民主主義の根幹を揺るがす人権侵害行為」「司法判断をないがしろにするもの」と厳しい批判があがっており、再度「審査請求」がされる事態に。



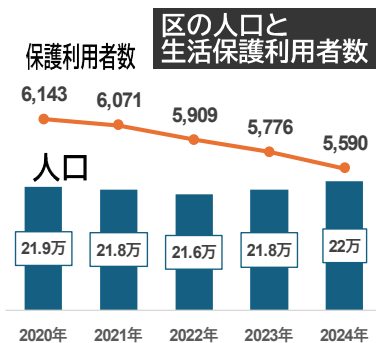
【質問】 荒川区は国の方針に則って支給するとしているが、法の専門家からの批判、指摘をどう受け止めるのか
答弁： そうした意見は承知しているが、区としては国の方針どおり対応する

セーフティネットが脅かされた背景には、2012年に自民党が選挙公約に「保護費の10%削減」を掲げ、厚労省が削減ありきで見直しをすすめたことがあります。国は謝罪し、違法削減を全額補償すべきです。一番身近でくらしと命を守る自治体として、憲法の「健康で文化的な最低限の生活」を保障する責務が荒川区にも問われています。

かんちがいの「生活保護率」! ?

区内の生活保護利用者は2024年5,590人で、この間徐々に減少。一人暮らし世帯が増加、利用者の6割超が65歳以上の高齢者ですが、収入が国民年金だけなどで最低生活費を下回っていても利用しない・できない方も多し。

「生活保護率」は“パーミル(‰)”で表され、区の保護率は24年度25.4‰(=2.54%)です。記号を読み違えて「保護率が高すぎる」と勘違いする場合があります。そもそも約7万円の生活費基準で人権が守られるでしょうか。年金と生活保護基準の引上げ、高い保険料の見直しが必要です。



区政世論調査より～「地域のバス充実を」

昨年9月の区の区政世論調査では、自由記載に380人・55件の意見が寄せられました。そのうち79件が南千住の方々からのご意見です。一番多かったのはさくらバスや都営バスなど「バスの充実」が18件、続いてまちの活性化や施設の充実などまちづくりについてが15件など。寄せられたご意見を議会活動にも活かします。みなさんにも順次ご紹介します。



★南千住の方からの意見

バスの充実	18件
まちづくり	15件
公共施設の充実	8件
子育て支援	7件
住宅問題	5件
医療・福祉	5件
防災	4件
自転車対策	4件
道路、ポイ捨て	4件
地域コミュニティ	3件
その他	6件
計	79件

【バスの充実についてのご意見より】

- さくらバスの拡充(復活)をお願いします。(60代)
…同様意見7件
- 都バスとの関係かコミュニティバスが運行しなくなった。
再開または、都バス運行本数の増加を(60代)
- さくらバスへの助成金給付をご検討下さい(60代)
- 隅田川沿いにバスを通して欲しい。出来れば台東区のコミュニティバスと連携してお互いに乗り入れ、若しくは協同で経営して欲しい。隅田川沿いの両区民の足は公共手段はバスのみです。お互いに行きたい場所(南千住駅や、その商業施設、浅草や上野)は近いのに遠いです。本当は何かしらの鉄道の駅があれば一番良いのですが。とにかく不便です(50代)
- コミュニティバスの本数を増やして欲しいです。また平日でもゆいの森に停車して欲しい。せっかく良い図書館なのに行きづらいので。よろしくお願いします(40代)
- さくらバスの、特に町屋-南千住間本数を元に戻してほしいです。夏の熱中症や夜の防犯の観点から、本数増加はメリットがあると思います(60代)
- 北千住の方へ行くバスを通してほしい(80歳以上)



日本共産党区議団も、今年で33回目となる区民アンケートを実施中。毎年1,000件以上の回答を頂いています。回答は右のQRコードから、紙のアンケートも配布します。



区民アンケートにご協力お願いします

ご意見・ご質問頂きました ○「自民党の衆議院議員に一人3万円のギフト券を高市首相が配ったが全て税金では、訳の分からない国会答弁でうやむやですか」「国民を犠牲にした献金など統一協会と高市首相との関わりや過去のXでの発信を無かったこに消してしまっているのでしょうか、国会で追及して」といらだちの声をたくさんいただきます。衆議院選挙で3割台の得票で7割以上の議席を占め、議会軽視の自民党政治に、平和と暮らしに共産党は議会内外でがんばります。マスコミもがんばってほしい

